

表2-1-4 自然毒に関する受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*) 一植物一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの症状**	経緯
42	シュウ酸塩含有植物 (ズイキ)	2008年 10月	兵庫県	不明	40歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	息苦しさ、口腔咽喉違和感	ズイキを採ってきて炒めものにして食べた。1名が息苦しさや喉のしびれを訴えている。他に口に入れた者がいるが、口に入れた時点でおかしいと気づき、食わずに口から出しており、症状もない。
43	シュウ酸塩含有植物 (テンナンショウ)	2008年 9月	北海道	2名	1歳10か月	その他 (宿泊施設)	屋外	不慮	口腔咽喉痛み	貸し別荘の敷地内に生えていたテンナンショウの種子を子どもがかじっていた。泣いたので、親が念のため種子を口にしたところ、焼け付くような口腔内の痛みを感じた。
44	シュウ酸塩含有植物 (マムシグサ)	2008年 9月	富山県	3名	28歳	医療機関	屋外	不慮	口腔咽喉痛み、傾眼	河原で酒に酔った3名が、外に生えていたマムシグサの実を食べた。刺激によりすぐに吐き出したため、ほとんど飲み込まずに、すぐに受診した。
45	シュウ酸塩含有植物 (ムラサキマムシグサ)	2007年 6月	栃木県	2名	9歳	医療機関	学校	不慮	口のしびれ、流涎	小学生がムラサキマムシグサを少量摂取したため、教諭もかんでみた。受診したのは小学生のみで、教諭の症状は不明である。
46	抗コリン作用植物 (エンゼルトランペット)	2007年 9月	岩手県	2名	78歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感、口渇	他の植物と間違えて、庭に咲いていたエンゼルトランペットの花をゆでて酢の物にして食べた。すぐにおかしいことに気づいたため、1口程度しか食べていないが、症状があり医療機関を受診した。
47	抗コリン作用植物 (チヨウセンアサガオ)	2008年 1月	兵庫県	3名	56歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	昏睡、不穏、一点凝視	畑でゴボウかと思っ採ってきたものを、家族と一緒に食べた。1名は吐き出したが、2名は吐き出さずに食べた。その後、意識消失があり、一点を見つめていようような状況で、不穏もあった。後に原因植物がチヨウセンアサガオであると判明した。
48	抗コリン作用植物 (チヨウセンアサガオ)	2008年 2月	福島県	4名	60歳	その他 (保健所)	居住内 (自宅)	不慮	息苦しさ、口渇、興奮、軟腫	家族4名で食事をした後、全員に症状が出て救急で搬送された。食事の混ぜご飯(ゴボウ、ニンジン、レンコン、ウナギ)の真材に抗コリン植物が食事に混入した可能性がある。後に原因植物がチヨウセンアサガオであると判明した。
49	皮膚炎発症植物 (ギンナン)	2007年 11月	兵庫県	2名	31歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐、めまい	成人女性2名がギンナンを約40個食べ、5時間後に症状が発現した。
50	皮膚炎発症植物 (ギンナン)	2008年 11月	神奈川県	2名	60歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心	前日の夕食と本日の朝食でギンナンを30~40個食べた。
51	皮膚炎発症植物 (イチジク)	2008年 7月	和歌山県	2名	3歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	子どもが買って来たイチジクを食べて舌が赤くなり、その後痛みも出てきた。
52	胃腸刺激性植物 (ハハハネロ)	2008年 9月	茨城県	1クラス (約30名)	10歳	その他 (小学校)	小学校	不慮	口腔咽喉違和感(10名)、口腔粘膜発赤(10名)、まぶたの発赤(2名)	幼稚園の園内開放で遊んでいた子ども2名が、キョウチクトウの葉を手にして食べた。母親が気づき、葉は捨てさせたがその手を洗わずに子どもがおやつを食べてしまい、1名は具合が悪い。もう1名は連絡を取っていないため不明である。
53	強心作用植物 (キョウチクトウ)	2008年 3月	神奈川県	2名(1名は曝露の可能性)	7歳	一般市民	幼稚園	不慮	嘔吐、発熱	幼稚園の園内開放で遊んでいた子ども2名が、キョウチクトウの葉を手にして食べた。母親が気づき、葉は捨てさせたがその手を洗わずに子どもがおやつを食べてしまい、1名は具合が悪い。もう1名は連絡を取っていないため不明である。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表2-1-5 自然毒に関する受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*) 一植物一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	受信時までの症状**	経緯
54	その他の毒性植物 (イソトマ)	2008年5月	千葉県	2名	1歳9か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	咳込み	イソトマの花柄を触った手で子どもにバナナを与えたら、咳き込んだ。手が苦い。
55	その他の毒性植物 (ソテツ)	2007年12月	福岡県	10名程度	9歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	嘔吐、腹痛、下痢	地域のもつき大会があり、近所の住民がソテツの葉を食べられると言ったため、子どもたち10名ほどが食べた。当院を受診しているのは3名である。
56	その他の毒性植物 (ツクシ)	2008年4月	山形県	3名	5歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	嘔吐	家族3名で炒めたツクシを食べた。ツクシの下ゆではしていない。その後、5歳の子どものみ、1時間に3回嘔吐した。
57	その他の毒性植物 (トクゼリ)	2008年3月	宮城県	数名	不明	医療機関	居住内(自宅)	不慮	呼吸苦、徐脈、悪心、手足のしびれ、意識障害、痙攣	山に生えており、採取した植物で、地元の方言いがまじいといわれる植物の相を味噌煮にして数名で摂取したところ、症状が発現して受診した。後に食べた植物はドクゼリと判明した。
58	その他の毒性植物 (トリカブトの可能性)	2008年4月	石川県	4名	37歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	腹痛	公園でヨモギをととり、自宅でお餅にして食べた。元々、体調不良だったが、母子どもにも症状がある。近所の親子も食べた。インターネットでヨモギとトリカブトが間違えやすいという情報があったので、心配になり電話をした。
59	その他の毒性植物 (バイケイソウ)	2008年4月	東京都	5~6名	87歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	不整脈、血圧低下、悪心、嘔吐	居酒屋で、店主が自ら採取した山菜を4~5名の客に出し、本人も食べたところ、全員に症状が発現し、数か所の医療機関に搬送された。店主はウレイト間違えて採取したという。
60	その他の毒性植物 (ヒガンバナ)	2008年6月	広島県	2名	53歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐、下痢	ニンニクと間違えてヒガンバナの球根を1個食べた。気分がすぐれないため、これから病院へ受診する予定である。2名のうち1名に症状はない。
61	無毒の植物 (柿)	2008年11月	埼玉県	2名	不明	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	栽培した柿を食べたところ、舌がしびれ、口の中の粘膜が溶けるような感じが生じた。
62	毒性不明の植物 (カタクリ)	2008年4月	北海道	3名	8歳	医療機関	小学校	不慮	嘔吐、下痢	学校の行事でカタクリのお浸しを作って食べた子どもに症状が発現し、医療機関を受診している。
63	毒性不明の植物 (ハンジュー)	2008年4月	福岡県	2名	13歳	医療機関	屋外	故意	呼吸困難、悪心、しびれ、発熱	中学生が、ふざけて友人とハンジューの花びらと種子を食べた。直後から症状が発現し、すぐに近医を受診したものの、症状が続くため転院してきた。
64	無毒の植物 (ムスカリ)	2008年10月	埼玉県	3名	5歳	医療機関	保育所	不慮	悪心	子ども3名がムスカリの球根を1/2個~2個食べて受診している。
65	不明の植物	2007年4月	愛知県	数名	60歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	過呼吸、血圧低下、嘔吐、下痢、体温低下	家で栽培している植物をアズキナ(ユキギザサ)と思い、家族数名で料理して食べた。症状が出たのは1名のみである。
66	不明の植物	2007年10月	山梨県	2名	5歳	その他(保育所)	保育所	不慮	口腔咽喉違和感	子ども2名がフエンスにまきついていたツル状の植物の葉を1個、口に入れて食べた。苦いといっすぐ吐き出した。
67	不明の植物	2007年12月	埼玉県	2名	38歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	しびれ、倦怠感、軽度意識障害	畑から採ってきた植物をゴボウと思い、調理して家族2名食べた。全身にしびれがあり、力が入らない状態で、意識がもうろうとする時もあったが、症状は改善してきた。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表2-2-1 自然毒に関する受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状<sup>\*\*\*</sup>) 一きのこ

事例No.	起因物質*	発生日	都道府県	患者数	患者年齢 <sup>**</sup>	連絡者	発生場所	状況 (摂取理由)	受信時までの 症状 <sup>***</sup>	経緯
1	ニセクロハツ*	2007年 9月	大阪府	10数名	67歳	医療機関 (2名)	屋外	不慮	嘔吐、腹痛、下痢	前日の屋、きのこを家族2名で食べ、1名が15時間後に嘔吐した。もう1名に症状は後、67歳の患者は褐色尿、腎不全があり、横紋筋融解症が疑われ、受診した翌日に多臓器不全で死亡した。
2			京都府	10数名	63歳	医療機関 (4名)	屋外	不慮	嘔吐、手足のこわばり、肩の痛み、めまい、ふらつき	前日の屋、きのこを4名で食べ、直後に嘔吐した。他3名は嘔吐のみであったが、1名は他の症状も出て、本日、医療機関に受診した。受診時、嘔吐、手足のこわばり、肩の痛み、めまい、ふらつきがあった。他3名は受診していない。きのこは捨てたため、持って来てはいない。その後、63歳の患者に横紋筋融解症が発現、17日間入院し、重症であったが略治退院した。
3			奈良県	10数名	74歳	医療機関 (1名)	屋外	不慮	血尿、横紋筋融解症	2日前にきのこのクロハツを生焼けて食べた。ニセクロハツの可能性もあるかもしれない。大阪や京都などから10数名が集まって食べたようで、そのうち数名が入院しているという。
4	アマニタトキシシン群 きのこ (タマゴテングタケ)	2007年 10月	東京都	2名	72歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐、下痢	2日前に山で採って来たきのこを、その夜に家族2名で食べた。食べた後、2名とも1名に症状が発現し当院へ受診したが、現在も症状が治まらないので再度受診した。
5	アマニタトキシシン群 きのこ (ドクソルタケ)	2007年 10月	山梨県	3名	48歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐、腹痛、下痢、無尿、肝機能異常、腎機能異常	ドクソルタケ1本をほうとう鍋にして3名で食べ、1名が重症、もう1名も当院に入院している。他1名は他院にて快方に向かっている。
6	クサウラベニタケ*	2007年 10月	北海道	2名	30歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐、腹痛	家族2名できのこを食べて、1名が30分後に、もう1名が1時間後に嘔吐したため、医療機関を受診した。後日、きのこは保健所で鑑定しクサウラベニタケと判明した。
7	クサウラベニタケ、 フウセンタケ属きのこ	2007年 10月	千葉県	2名	57歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐、下痢	採ってきた2種類のきのこを調理して2名で食べたところ、症状が発現した。1名が受診したが、もう1名の状態は把握できていない。
8	ドクササコ	2007年 10月	宮城県	2名	87歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	しびれ(四肢末梢)、疼痛	家人が山で採取したきのこを、3回に分けて調理して食べ、医療機関へ搬送されて来た。
9	ドクササコ	2007年 10月	秋田県	2名	高齢者	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	手足疼痛	1か月前に家族2名がドクササコを食べ、1名はすでに退院し、もう1名は通院治療中である。
10	ナラブサ	2007年 10月	群馬県	2名	58歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	腹痛、発汗、腸音亢進	家人が採取したきのこを全て調理し、鍋にして2名で食べた。摂取2時間後より症状が発現した。他の人に配ったりはしていない。
11						医療機関	居住内 (自宅)	不慮	腹痛、振せん、腸音亢進	きのこを食べた患者がこれから転送されてくるため、情報を確認しておきたい。
12	オシロイシメジ	2008年 9月	茨城県	3名	67歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	消化器痛み、倦怠感、胸苦しさ、肝機能異常	3日前に、3名で知り合いの山に行ってきたきのこの採取し、持ち帰ったきのこを煮てそれぞれ小鉢1杯分摂取した。2名に症状が発現したため受診した。
13	カオリツツムタケ*	2008年 8月	茨城県	7名	56歳	医療機関	不明	不慮	悪心、腹痛、下痢、冷汗	クリタケを食べたと行って患者が発現してきた。7名がきのこを食べ、4名に症状があり、3名が入院している。後にきのこの種類はカオリツツムタケで、クリタケと誤認して採取したことが判明した。
14	ガンタケ	2008年 10月	茨城県	4名	62歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	眠気	林に生えていたガンタケをきのこの本を見て採取し、4名でバター炒めにして食べた。1名に眠気があり、他の3名は症状はない。
15	ツキヨタケ*	2007年 10月	福島県	6名	31歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐	前日の夜、家族6名でツキヨタケを食べた後、全員に激しい嘔吐があった。症状は翌日の明け方まで続いたが、その後、症状は落ち着き、回復に向かっている。きのこは保健所で鑑定した結果、ツキヨタケと判明した。

\*保健所等で鑑定し、きのこの種類が確定している事例 \*\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表2-2-2 自然毒に関する受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状<sup>\*\*\*</sup>) 一きのこ

事例No.	起因物質*	発生日	都道府県	患者数	患者年齢 <sup>**</sup>	連絡者	発生場所	状況(摂取理由)	受信時までの症状 <sup>***</sup>	経緯
16	ナラタケモドキ	2008年9月	茨城県	3名	15歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐、振せん	家族3名でナラタケモドキを調理して食べた。両親と子どもで食べたが、子どものみ症状が発現した。現在も悪心が続いている。
17	ボラボラ	2008年10月	北海道	2名	32歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	嘔吐(2名)、腹痛(1名)、下痢(2名)	夫婦が知人よりもらったきのこを調理して大量に食べ、症状が発現したため受診した。本人はボラボラと言っている。
18	モタセ	2007年9月	群馬県	2名	74歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐、下痢	友人からもらったきのこを家族2名でみそ汁にして食べた。みそ汁にしたきのこ1名は6~7本、もう1名は少量食べ、しばらくして症状が発現し、医療機関へ受診した。現在、症状は回復に向かっている。
19	モタセ	2007年10月	栃木県	2名	68歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	下痢、流涎、発汗、振せん	近所からもらったモタセというきのこを家族2名が食べた。1名はアルコールを同時に摂取し、症状が発現したため受診した。もう1名は初め症状があったが治まり、病院には付き添いのために来た。
20	モタセ(ヤブタケ)	2008年11月	東京都	7名	49歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐、胃のむかつき	家族や親戚が集まり、計7名できのこ汁などを夕食に食べた。その後、症状はなく就寝したが、朝の4時頃に目が覚めた際に症状があったため受診した。症状が発現したのは受診した1名のみである。
21	モミタケ	2007年10月	群馬県	2名	60歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心	家族2名でモミタケを食べた。2名のうち1名が悪心を訴えて受診した。
22	エリンギ	2007年9月	千葉県	2名	72歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	めまい、脱力	14時間ほど前に、市販のエリンギを大量に食べた。
23	ナメコ	2007年9月	不明	4名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心	いつも山で取っているナメコを、今日は水洗いをしてただけで加熱せずに、家族4名で食べてしまった。
24	不明のきのこ	2007年9月	広島県	2名	36歳	医療機関	屋外	不慮	嘔吐、腹痛	きのこを焼いて10本程度を2名で食べた。
25	不明のきのこ	2007年10月	群馬県	5名	22歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心、腹痛、発汗、縮腫	ハタケシメジと思って採取したきのこを家族5名が摂取し、1時間半後から全員に症状が発現している。重症の3名は他院を受診し、軽症の2名が当院を受診している。
26	不明のきのこ	2007年10月	東京都	2名	40歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	息苦しさ、動悸、下痢、顔面紅潮、寒気	山に登って採取した人にもらったきのこを、着物にして2名で食べた。多く食べた1名に症状が出ているが、少量しか食べていないもう1名は症状はない。
27	不明のきのこ	2007年10月	群馬県	2名	61歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	下痢、流涎、発汗	家族2名できのこを食べたから、発汗が止まらないうちに下痢、もう1名には流涎がみられている。
28	不明のきのこ	2007年10月	熊本県	2名	59歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	徐脈、嘔吐、下痢	山登り定して、木に生えていたシイタケに似たきのこを探して、自宅で調理して食べた。食べて1時間後から嘔吐があり、続いているので医療機関を受診した。食べた量が少ない1名の方が軽症である。きのこは近所に配ってはいない。
29	不明のきのこ	2008年9月	福井県	5名	65歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	嘔吐	山でブナの木に生えていたきのこをシラタケと誤って採取し、焼いて5名が食べた。2時間後から全員に嘔吐が発現し、うち1名が当院へ受診した。他の2名は他院を受診し、残り2名は受診していない。
30	不明のきのこ	2008年10月	静岡県	3名	12歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	腹痛、下痢	前日と本日の朝、食用のアミタケと誤ったきのこを食べた。摂取した3名が本日の朝から下痢の症状を訴えている。
31	不明のきのこ	2008年10月	栃木県	2名	58歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	嘔吐、腹痛、下痢、発汗	一緒に山に行った知人が生えていたきのこを食用だと言ったので、採ってきて夕食に調理して食べた。その1時間後より症状が発現した。一緒に食べた妻の方は症状が軽い。

\*保健所等で鑑定し、きのこの種類が確定している事例 \*\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表2-3-1 自然毒に関する受信事例の詳細(2007～2008年、患者2名以上、有症状\*\*) 一水生動物一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの 症状**	経緯
1	アサリ	2008年 5月	兵庫県	3名	1歳4か月	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	腹痛、下痢	潮干狩りで取ったアサリを家族3名で食べたところ、1名に症状が発現した。
2	アサリ、サザエ	2008年 2月	兵庫県	2名	41歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心、味覚異常	頂き物のサザエとアサリを炭火で焼いて夫婦で食べたところ、妻が食べた直後から味覚がおかしくなった。サザエを食べたとき、ジャリッという感じがした。
3	カキ	2007年 12月	山梨県	3名	53歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐、腹痛、下痢、白血球増多	家族3名で生ガキを4個食べた。他院に一度受診した後、当院を受診した。生ガキは店で購入したものである。
4	カキ	2008年 1月	神奈川県	4名	52歳	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	嘔吐、下痢、体温低下	知人2名と夫婦2名(計4名)で屋敷に生ガキを2個食べ、夫婦2名に下痢などの症状が出た。なお、夫婦2名は3日前にも自宅でも生ガキを5～6個食べている。
5	カキ	2008年 11月	埼玉県	不明	45歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	煮たカキを1個食べたところ、舌がヒリヒリするので吐き出した。同じものを食べた家人に異常はない。
6	サザエ	2007年 4月	埼玉県	2名	38歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	倦怠感、手のむくみ、紅斑	3日前の夕食にサザエを1個食べたところ、30分後に紅斑が出て、3日経った今も倦怠感や手のむくみなどの症状がある。食べたのは2名だが、症状が出たのは1名である。
7	ツブ貝	2008年 3月	東京都	2名	28歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	皮膚かゆみ(口の周り)	夕食にツブ貝を夫婦で食べたところ、妻が口の周りがかゆいと訴えた。普段は下処理をするが、今回は行わなかった。
8	ツブ貝	2008年 6月	宮城県	3名	63歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	血圧上昇、ふらつき	ツブ貝を生で食べた後、症状が発現して受診した。他に2名が食べたが特に症状はない様子である。
9	ツブ貝	2008年 9月	神奈川県	2名	65歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	めまい、目の痛み、視力低下	生きたまま売っていたツブ貝を購入し、ゆでたものを冷やして刺し身にして夫婦で計8個食べたところ、夫婦共に症状が発現した。
10	バイ貝	2007年 11月	千葉県	4名	45歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐、めまい	バイ貝5個を刺身用にスライスして家族4名で食べたところ、その後しばらくしてから全員に中毒症状が発現した。
11	バイ貝	2008年 11月	島根県	2名	59歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	血圧上昇、悪心、嘔吐、めまい、視覚異常(視点が合わない)	夫婦が、夕食に大きめのバイ貝を1個ずつ食べたところ症状が発現したため、受診した。
12	フグ(幼魚)	2007年 1月	鹿児島県	3名	62歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	購入したダシジャココの乾燥品を使って、みそ汁を作り、家族3名で飲んだ。商品の中に5cm位のフグの幼魚らしい魚が入っていたので、捨てた。1名が口のひりひり感を訴えているが、他の2名に症状はない。
13	フグ	2007年 11月	大阪府	数名	71歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	嘔吐、腹痛、下痢、関節痛、脱力	2日前に飲食店でフグを食べ、翌日に他院を受診した後、本日当院へ受診してきた。数名が採取したが、症状があるのは受診した1名のみである。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表2-3-2 自然毒に関する受信事例の詳細(2007～2008年、患者2名以上、有症状\*\*) - 水生動物物 -

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの 症状**	経緯
14	フグ	2007年 12月	都道府県 大阪府	10名	成人	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	しびれ	忘年会で10名がフグの鯛を飲食店で食べた。帰宅してから舌の先がピリピリして、右足もしびれたような感じがした。右足のしびれは消えたが、舌先のピリピリ感はまだ残っている。
15	フグ	2007年 12月	山口県	5名	17歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	口渇、しびれ	家人がフグの調理免許を持っていて、自宅でフグを調理して食べたところ、症状が出て医療機関を受診した。2名のみに症状があり、現在入院中である。
16	フグ	2007年 12月	兵庫県	5名	成人	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	しびれ、皮膚違和感	市販の調理済みフグを鯛にして食べ、症状が出ている。鯛を食べた他の人には、全く症状は出していない。
17	フグ	2008年 2月	兵庫県	2名	65歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	しびれ	家で夫婦が夕食にフグを食べた後、妻に症状が発現した。夫には特に症状はない。
18	フグ	2008年 11月	東京都	不明	成人	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	悪心、しびれ(指先、足)、貧血状態	店舗でフグの唐揚げや皮などを食べた。酒の飲みすぎか風邪のせいかわからないが、指先、足のしびれが発現した。一緒に食べた人の中に症状が発現している人がいるかどうかは不明である。
19	フグ (チヨウチンフグ)	2008年 2月	愛知県	3名	1歳6か月	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	寒気	さばいたフグを購入し、鍋料理にして家族3名で食べた。約8時間後、夫婦とも寒気を感じた。しびれ感はなく、子どもは特に症状はない。
20	インガキダイ	2007年 6月	東京都	数名	30歳代	医療機関	不明	不慮	口腔咽違和感、腹痛、下痢、しびれ	前日、自分たちで釣った魚を養魚にして数名が食べた。本日2名が受診し、受診していない他の数名も同様の症状が出ているという。食べた1時間後に全身と喉のしびれがあり、さらに1時間後に腹痛と下痢が発現した。
21	不明の魚 (シガテラ毒の可能性)	2007年 5月	鹿児島県	10名	62歳	一般市民	屋外	不慮	嘔吐、下痢、呼吸困難、しびれ、皮膚痛み	釣った魚の身は刺身にして、肝は炊いて10名で食べた。肝を食べた5名に5時間後から症状が発現した。食べた2日後に医療機関を受診し、症状がひどくなったら再度受診するように言われた。
22	不明の魚 (シガテラ毒の可能性)	2008年 7月	大阪府	4名	42歳	医療機関	屋外	不慮	消化器違和感、しびれ	1週間前に沖縄へ旅行して4名で会食した。その後にしびれが出て、シガテラ中毒ではないかと言われた。1週間経過し、しびれは取れたが、お腹の調子が悪いと言って受診した。
23	カツオ、マグロ、ブリ (可能性)	2008年 6月	大阪府	不明	19歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心、下痢	家人は19時に夕食を済ませたが、1名だけ10時に夕食を食べた。食べたのは店舗で購入した刺身である。直後より、むかつき等の症状が発現した。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表3 食品に関する受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*)

事例 No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの症状**	経緯
1	飲料用アルコール	2007年 4月	千葉県	2名	5歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	顔面紅潮	店で注文したクリームソーダを食べたところ、アルコールが混ざっていた。上の子は、クリームソーダのアイスだけを食べ、ジュースは苦くて飲まなかったというが、下の子が残っていたジュースをコップ半分程度飲んだところ、症状が発現した。
2	飲料用アルコール	2007年 7月	奈良県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、元気がない、生あくび	圧力鍋で肉を煮込むのに、日本酒を切らせてしまったので焼酎200mLと水を加えて加熱した。アルコールを含んだ蒸気が大量に出始め、子どもが気持ち悪いと言い出した。母親もアルコールに強くないので、気持ち悪そうな気がする。
3	飲料用アルコール	2008年 5月	千葉県	2名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐、頭痛	子ども2名が、ジュースだと悪い缶チューハイを飲んだ。
4	飲料用アルコール	2008年 8月	大阪府	2名	2歳0か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	顔面紅潮	外出時に梅酒をお茶とまちがえて水筒に入れて持って行った。子どもが少量飲んで気がついた。
5	化学調味料 (グルタミン酸ナトリウム)	2007年 2月	栃木県	5名	12歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	しびれ	家族3名と知人夫婦合わせて5名で飲食店で焼きそばを食べた。化学調味料の味が濃い焼きそばだった。食べて30分後に症状が発現した。
6	香辛料 (赤トウガラシ)	2008年 3月	大阪府	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感、 眼の痛み、流涙	料理の手伝いで、子どもに1本のトウガラシを半分に切って箸で種をとる作業をさせたところ、口がしびれると言いつい出し、眼を痛がって涙を流していた。
7	香辛料 (ハバネロ)	2008年 2月	東京都	5名	15歳	その他	中学校	不慮	悪心、発汗	中学生5名がハバネロ入りのチョコレートを食べた。
8	食品添加物 (自家製コンニャクに使用した凝固剤の可能性)	2008年 11月	福岡県	2名	43歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	自家製のコンニャクを食べたところ、症状が発現した。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表4 JPIC 食品に化学物質が混入して発生した急性中毒受信件数  
(2007~2008年、患者2名以上)

	2007年		2008年		計	
	件数(うち有症状)		件数(うち有症状)		件数(うち有症状)	
<b>家庭用品</b>	161	(31)	135	(21)	296	(52)
乾燥剤・鮮度保持剤	68	(6)	48	(2)	116	(8)
脱酸素剤	41	(4)	37	(1)	78	(5)
乾燥剤	16	(1)	5	(1)	21	(2)
鮮度保持剤	9	(0)	6	(0)	15	(0)
乾燥剤または鮮度保持剤	1	(0)	0	(0)	1	(0)
防腐剤	1	(1)	0	(0)	1	(1)
洗剤・洗淨剤	46	(14)	41	(8)	87	(22)
塩素系漂白剤	18	(6)	18	(2)	36	(8)
食器洗い用洗剤	10	(3)	6	(2)	16	(5)
ポット洗淨剤	7	(2)	10	(4)	17	(6)
食器洗い機用洗剤	6	(2)	1	(0)	7	(2)
重曹	1	(0)	3	(0)	4	(0)
衣類用洗剤	1	(1)	1	(0)	2	(1)
パイプ用洗淨剤	1	(0)	1	(0)	2	(0)
オープン専用洗淨剤	0	(0)	1	(0)	1	(0)
クレンザー	1	(0)	0	(0)	1	(0)
柔軟仕上げ剤	1	(0)	0	(0)	1	(0)
廃油処理剤	15	(6)	12	(4)	27	(10)
ヒマン油含有、固体	3	(0)	7	(2)	10	(2)
界面活性剤含有、液体	4	(4)	1	(1)	5	(5)
成分不明、固体	6	(1)	2	(0)	8	(1)
成分不明、液体	2	(1)	2	(1)	4	(2)
タバコ関連品	7	(0)	5	(2)	12	(2)
殺虫剤	4	(1)	4	(2)	8	(3)
保冷剤	4	(0)	3	(0)	7	(0)
体温計、温度計	1	(0)	5	(1)	6	(1)
文具・美術工芸品	2	(0)	4	(0)	6	(0)
芳香剤、消臭脱臭剤	3	(1)	1	(0)	4	(1)
防虫剤	1	(0)	3	(0)	4	(0)
エッセンス油	1	(1)	2	(0)	3	(1)
電池	2	(0)	1	(0)	3	(0)
肥料	1	(0)	2	(0)	3	(0)
化粧品	1	(0)	1	(0)	2	(0)
家庭用忌避剤、誘引剤	0	(0)	1	(0)	1	(0)
その他の家庭用品	5	(2)	2	(2)	7	(4)
<b>工業用品</b>	14	(10)	17	(4)	31	(14)
<b>農業用品</b>	11	(4)	7	(2)	18	(6)
<b>医薬品(医療用、一般用、動物用)</b>	7	(3)	6	(3)	13	(6)
<b>計</b>	193	(48)	165	(30)	358	(78)



表5-1-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*) - 乾燥剤・鮮度保持剤等 -

事例 No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの症状**	経緯
1	乾燥剤 (活性酸化鉄含有)	2007年 3月	東京都	2名	51歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	しびれ	ケーキを作る際、粉に乾燥剤が入っていることに気づかず、ミキサーで混ぜて作った。チョコレート味で甘く、気づかなかつた。
2	乾燥剤 (活性酸化鉄含有)	2007年 6月	兵庫県	2名	58歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心	乾燥剤をコンヨウと間違えて皿に出して、夫婦2名が食品につけて食べた。
3	乾燥剤 (活性酸化鉄含有)	2007年 6月	愛知県	2名	67歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐	冷凍ピザに同封された乾燥剤2袋をピザにかけ、電子レンジで加熱したものを夫婦2名が食べた。
4	乾燥剤 (活性酸化鉄含有)	2007年 11月	長野県	2名	10歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	あべかわ餅に入っていた乾燥剤を、ゴマと間違えてふりかけて食べた。
5	乾燥剤 (活性酸化鉄含有の可能性がある)	2008年 1月	岡山県	2名	53歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	頭重感	お餅と一緒に乾燥剤をオーブントースターで焼いて食べた。トースターのアルミ箔に袋と黒い粉が付着していたので、食べた後に気づいた。
6	乾燥剤 (生石灰)	2007年 1月	神奈川県	4名	11歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐	間違えて乾燥剤が入った可能性の高いギョウザを家族4名で食べた。
7	乾燥剤 (成分不明)	2008年 12月	福島県	3名	8歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐、食欲不振	グラタンの中に乾燥剤が入っていて、気づかずと一緒に焼いて食べた。子どもが食べ残したグラタンを、後日家人が食べた時に錠剤をかじってしまい気づいた。
8	防腐剤 (成分不明)	2007年 12月	大阪府	3名	成人	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心、嘔吐	エビを湯がいて食べたところ、薬品臭がして2名はほとんど食べることが出来ず、子ども1名のみが食べた。翌日、ほとんど食べなかつた1名が嘔吐したので、購入先に問い合わせたところ、防腐剤の影響ではないかと言われた。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表5-2-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007～2008年、患者2名以上、有症状\*\*) 一 洗剤・洗淨剤

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(摂取理由)	受信時までの症状**	経緯
1	塩素系漂白剤	2007年1月	茨城県	3名	80歳代	医療機関	医療施設	不慮	嘔吐	入院患者が、2倍希釈した塩素系漂白剤を飲み物と間違えて飲んだ。
2	塩素系漂白剤	2007年2月	茨城県	2名	成人	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み(1名)	塩素系漂白剤を使って漂白していた水筒を使用した。水筒の中の飲み物を飲んだところ、舌がひりひりした。
3	塩素系漂白剤	2007年3月	東京都	2名	12歳	一般市民	屋内の公共スペース	不慮	口腔咽喉痛み	スポーツチームの集まりで、食器を塩素系漂白剤につけていたのを気づかず、飲んだり、口に入れてしまった。
4	塩素系漂白剤	2007年7月	大阪府	2名	9歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	腹痛(1名)、口腔粘膜発赤(1名)	希釈した漂白剤を2名が1口飲んだ。すぐに気づいたので大量には飲んでいない。翌日、2名とも症状が出た。
5	塩素系漂白剤	2007年9月	京都府	3名	40歳	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	嘔吐	塩素系漂白剤の希釈液が入った水を従業員が誤って出し、それを使用して作った水割り酒を3名が飲んだ。他にも飲んでいいる可能性があるが、すでに帰宅しており、確認できていない。
6	塩素系漂白剤	2007年9月	大阪府	2名	34歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、嘔吐	家人がペットボトルに塩素系漂白剤の希釈液を入れ、冷蔵庫に入れていたが、それを知らずに水と誤って、お茶に足して飲んだ。
7	塩素系漂白剤	2008年9月	大阪府	2名	2歳2か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	咳込み、嘔吐	漂白剤を希釈してペットボトルに入れていたところ、子ども2名が間違えて飲んだ。上の子に症状が出たが、今は治まっている。
8	塩素系漂白剤	2008年12月	埼玉県	2名	52歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	5Lの水のタンクが汚れていたため塩素系漂白剤を入れて漂白していた。家人が知らずにその水でラーションをつくり夫婦で食べた。食べた際に臭いがしたため、よく確認したところ漂白剤入りの水を利用してラーションを作ったことが判明した。
9	ポット洗淨剤(スルファミン酸含有)	2007年9月	大阪府	2名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	下痢	家人がポットを洗淨していることを知らずに、子どもがポットに電源を入れ、ラーションを作って食べた。
10	ポット洗淨剤(スルファミン酸含有)	2008年2月	千葉県	2名	80歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	高齢の夫婦2名が、洗淨中のポットの湯を通常のポットの湯と誤って使用し、インスタントコーヒーを作って2口ほど摂取した。味がおかしい事に気づき、それ以上は摂取していない。
11	ポット洗淨剤(スルファミン酸含有)	2008年5月	大阪府	2名	20歳代	その他(公共施設)	仕事場	不慮	悪心、頭痛、寒気	ポット洗淨剤の入ったお湯でコーヒーを作り、2名が1口飲んだ。味の違和感があり、すぐに気づいた。
12	ポット洗淨剤(スルファミン酸含有)	2008年6月	大阪府	2名	17歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	ポット洗淨剤の入った水を知らずにコップ1杯づつ飲んだ。
13	ポット洗淨剤(クエン酸含有)	2007年9月	大阪府	2名	71歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	ポット洗淨剤を使用中のポットの湯でコーヒーを作って飲んだ。すっぱい味がしたので、1名は1口、もう1名はさかすか1杯程度しか飲んでいない。
14	ポット洗淨剤(クエン酸含有)	2008年9月	岡山県	数名	81歳	医療機関	高齢者施設	不慮	嘔吐	高齢者施設で、数名がポット洗淨剤を入れた魔法瓶の中の水を飲んだ。ほとんどの人が1口で異味に気づいて吐き出したが、意思疎通の困難な2名が100mLほど飲んでいいる。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表5-2-2 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*) 一洗剤・洗淨剤一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (摂取理由)	受信時までの 症状**	経緯
15	食器洗い用洗剤 (界面活性剤含有、 中性)	2007年 2月	東京都	2名	70歳代	医療機関	不明	不慮	口腔咽喉違和感	油と間違えて食器洗い用洗剤で炒め物を作って食べた。味がおかしいとすぐに気づいたため、食べた量は少ない。食器洗い用洗剤は経営している店で使用していたものである。
16	食器洗い用洗剤 (界面活性剤含有、 中性)	2007年 9月	京都府	2名	4歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	消化器違和感	食器洗い用洗剤を使って洗った後、さすがに置いておいた物に水を入れ て飲んだ。
17	食器洗い用洗剤 (界面活性剤含有、 中性)	2008年 7月	埼玉県	2名	10歳	その他 (小学校)	小学校	不慮	悪心、腹痛	生徒が掃除終了後、水道の蛇口を逆さにして、食器用洗剤を入れた。水を 流したあと、どんな味がするかと思い、2名が蛇口をなめた。
18	食器洗い用洗剤 (界面活性剤含有、 中性)	2008年 9月	徳島県	2名	40歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感、消化器違和感、下痢	夕食の魚に食器用洗剤がかかっていたことを、食べた後で気づいた。
19	食器洗い用洗剤 (成分、液性不明)	2007年 10月	岡山県	2名	80歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	認知症があり、油と間違えて食器洗い用洗剤を使い、炒め物を作った。家 人はすぐに気づいたが、本人は少量食べた。
20	食器洗い機用洗剤 (界面活性剤含有、 弱アルカリ性)	2007年 4月	神奈川県	2名	27歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	食器洗い機用洗剤が溶けずに付着したコーヒーカップに、コーヒーを入れて 飲んだ。
21	食器洗い機用洗剤 (界面活性剤含有、 弱アルカリ性)	2007年 4月	神奈川県	2名	51歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	食器洗い機用洗剤が付いたコーヒーカップを使用した。機械を使用中に途 中で止めた事を忘れており、飲んだ後にカップに洗剤が白く付いている事 に気づいた。
22	衣料用洗剤 (界面活性剤含有、 弱アルカリ性)	2007年 12月	茨城県	4名	30歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感、口渇	自宅で白菜をつけ、食べたところ味がおかしいと気づいた。衣料用洗剤が 混ざった可能性がある。

\*患者年齢は症状がある場合が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表5-3-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*) - 廃油処理剤 -

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	受信時までの症状**	経緯
1	廃油処理剤 (界面活性剤含有、液体)	2007年1月	東京都	2名	80歳代	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、 口腔咽喉違和感	チャーハンを作って食べたところ、ぬるめる感じがした。使った油を確認すると廃油処理剤との記載があった。
2	廃油処理剤 (界面活性剤含有、液体)	2007年5月	東京都	3名	18歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	食用油と間違えて廃油処理剤を使って揚げ物をした。苦味があったので、おかしいことに気づいた。
3	廃油処理剤 (界面活性剤含有、液体)	2007年5月	東京都	2名	19歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	悪心	廃油処理剤で揚げ物をして食べた。味が変わったのですぐに気づいた。
4	廃油処理剤 (界面活性剤含有、液体)	2007年10月	愛知県	2名	24歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	廃油処理剤を使用してさらさらになった油を使い、作った料理を食べた。
5	廃油処理剤 (界面活性剤含有、液体)	2008年1月	神奈川県	3名	10歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、 悪心	廃油処理剤を油と間違えて調理し、3名が食べて症状が発現した。
6	廃油処理剤(液体)	2007年4月	岡山県	5名	30歳代	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、 口腔咽喉違和感	ハンバーグを焼く時に食用油と間違えて廃油処理剤を使い、焼いた物を食べた。
7	廃油処理剤(液体)	2008年11月	千葉県	5名	50歳代	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	頻脈、舌のじびれ	飲食店で食事をした客4名が料理に苦味を感じ、その5分後に舌のじびれが発現した。原因は不明であったが、従業員が廃油処理剤の可能性を疑って廃油処理剤をなめたところ同じ症状が発現した。
8	廃油処理剤 (ヒマン油含有、固体)	2008年4月	秋田県	6名	56歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	悪心	廃油処理剤をパン粉と間違えて、フライを作って食べた。
9	廃油処理剤 (ヒマン油含有、固体)	2008年5月	大阪府	3~4名	不明	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	腹痛、下痢	廃油処理剤で固めた油を再加熱して天ぷらを作り家族3~4名で食べ、1名に症状が発現していると電話相談があった。
10	廃油処理剤(固体)	2007年10月	京都府	2名	14歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	天ぷら油に廃油処理剤を入れたものを再び温め、それにカツを入れて揚げて食べた。

\*患者年齢は症状がある場合は最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表5-4-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*) 一家庭用品その他一

事例No.	起因物質	発生月	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	受信時までの症状**	経緯
1	殺虫剤 ピレスロイド含有殺虫剤	2007年 11月	東京都	4名	52歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	消化器違和感、 嘔吐	流しの下に殺虫剤を並べ、その上にお米の袋を乗せていたが、そのうち1本の殺虫剤の噴霧口がお米の紙やビニールの袋を突き破っており、袋の中で殺虫剤が噴霧され続けていた。発見時には殺虫剤が空になっており、お米の下の部分がしっとりしていた。
2	ピレスロイド含有殺虫剤	2008年 6月	神奈川県	2名	70歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	悪心	屋内にいたムカデに殺虫剤を1分以内(数秒間)スプレーした。その後、夫婦で、同じ部屋内の食卓に用意をした朝食を食べた。殺虫剤が朝食には直接かかっていないと思うが、少量かかったかもしれない。
3	有機リンピレスロイド含有殺虫剤	2008年 7月	香川県	4名	65歳	医療機関	屋外	不慮	口腔咽喉違和感	町内会で家屋の周囲の清掃除害をしていた時、乳酸菌飲料と出さされたものを4名で飲んだ。直後に味の異変に気づき、採取約30分後に医療機関を受診した。200mL程度採取した65歳の患者1名は舌に違和感があるが、他の3名は50mL程度しか採取しておらず無症状である。
4	タバコ関連製品 タバコ浸出液	2008年 1月	神奈川県	2名	35歳	一般市民	屋内の公共スペース	不慮	悪心、頭痛	外食で鍋料理を食べたところ、鍋の底からタバコが出てきた。すぐに医療機関を受診したが、処置はなかつた。
5	タバコ浸出液	2008年 2月	千葉県	4名	1歳0か月	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	下痢、痙攣	子どもにミルクを作る際、ポットにタバコの吸殻が入っていたことに気づいた。いつか入っていたか分からない。子どもにはこのポットの湯でミルクを作り、他の家族3名も飲んだが症状はない。子どもは風邪を引いて下痢をしており、4日前に痙攣様の症状があった。
6	エッセンス油 (アロマオイル)	2007年 3月	滋賀県	2名	56歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、 食欲不振	便秘薬と間違えてアロマオイルを7滴コップに入れ、そこに水200mLを加えたものを全部飲んだ。その後、もう1名が同じコップを使い、底に少量溜まっていたアロマオイル希釈液に気づかず、水を足して少し飲んだ。
7	消臭剤 (ベンジルアルコール含有)	2007年 10月	徳島県	2名	25歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐	約12L入った水のタンクに消臭剤を誤って混入した。その水を2名がコップ1杯飲んだ。1名は直後に嘔吐した。
8	体温計 水銀体温計	2008年 1月	山口県	2名	成人	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	下痢(1名)	床に体温計が落ちた際、食器の準備をしていたため、食べ物の上にかかった可能性がある。水銀の処理はすでに済んでいる。
9	その他の家庭用品 浄水剤 (サンゴカルシウム含有)	2007年 10月	東京都	2名	56歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	口腔粘膜びらん	浄水剤1袋を水に落かして、食品にかけて食べた。
10	除菌剤 (エチルアルコール含有)	2008年 10月	大阪府	2名	成人	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	消化器違和感	除菌スプレーを包丁に噴霧し洗浄せずに調理をした。
11	電解水 (成分不明)	2008年 9月	埼玉県	11名	30歳代	医療機関	医療施設	不慮	悪心、嘔吐、腹痛、下痢	電解水で作った麦茶を前日に11名が飲んだ。2名が体調不良を訴え、本日受診した。
12	フローリング用掃除シート (グリセリン含有)	2007年 4月	東京都	4名	90歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	下痢	フローリングのシートをキッチンペーパーと間違えて、魚に巻きつけ、その魚を焼いて食べた。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表6 工業用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*)

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	受信時までの症状**	経緯
1	灯油	2007年1月	青森県	4名	31歳	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	悪心、嘔吐	食堂で豚汁を食べたところ、ゴボウから灯油のような臭いがした。灯油のしみ込んだゴボウが使われた可能性がある。
2	灯油	2007年1月	兵庫県	2名	35歳	一般市民	屋外	不慮	口腔咽喉違和感	ガソリンスタンドで灯油を入れた際に母親の手に灯油がかかったが、その事を忘れて、その後に行った公園で手を洗わずに子どもと一緒ににおにぎりを食べた。灯油の付いた可能性があるジャガイモを食べた。ジャガイモの入っていたビニール袋に灯油がついていた。
3	灯油	2007年12月	栃木県	3名	40歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐	せんべいを1口食べたところ、灯油の味がした。購入した店にそのせんべいを持っていく、店員が食べたところ、灯油の味がすると言いが、原因が本当に灯油であるかは不明である。
4	灯油	2007年12月	東京都	2名	45歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	家族5名が、漬物に灯油がついているのに気がつかずに食べてしまった。漬物は自家製で何日か前に灯油を入れた時に、誤って漬物の桶についたのかもしれない。
5	灯油	2008年2月	福島県	5名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	
6	塗装の木さじ(漆)	2008年11月	神奈川県	2名	37歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	難乳食の熱いおかゆを冷ましている間、漆塗りの木のさじを入れたままにしていた。漆臭いにおかゆがするが、子どもにも食べさせ、温度をみるために、母親もなめたところ、口の中の違和感がとれない。子どもには変化はない。
7	金鷹酒清劑(酸化水素系溶剤含有)	2007年1月	埼玉県	2名	2歳8か月	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	店屋物のラーメンを子どもが10口程度食べた。残りを母親が食べたところ、金鷹酒清劑が混入した可能性を感じたため、店に問い合わせて、製麺中に金鷹酒清劑が混入した可能性があるということで、医療機関へ電話相談をした。
8	水酸化ナトリウム、塩酸	2007年7月	石川県	33名	10歳代	医療機関	学校	不慮	口腔咽喉痛み、腹痛	中学1年生と3年生のクラスで理科の実験をし、実験に使用したミカンを食べた生徒に症状が出たので医療機関を受診した。実験はミカン1房を塩酸に漬け、その後、水酸化ナトリウムに漬けてから洗浄し、フェノールフタレインで中性に戻ったことを確認して食べるという内容であった。前日に2年生が同じ実験を行った際には症状が出た生徒はいなかった。1年生は18名中7名、3年生は15名中2名に症状が出ており、そのうち5名が受診している。
9	工業用洗淨劑(次亜塩素酸ナトリウム、水酸化カリウム含有)	2007年11月	栃木県	2名	23歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	悪心	ミルクラインの工業用洗淨劑の希釈液が入ったポットの液体を、店員が紅茶のまぎ口の横に置いたところ、客2名が飲んだ。ポットには洗淨劑の原液20mLを800mLに希釈したものを入っていた。
10	ドライアイス	2008年7月	東京都	2名	33歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	胃の灼熱感	水が入っているコップに、ドライアイスを入れていた。すでに二酸化炭素ガスは出ていない状態のコップの水を、障害を持つ成人が飲んでしまった。
11	ヒ素	不明	神奈川県	3名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	不整脈、悪心、体重減少、胸痛、毛髪検査異常	家族が市販のギョウザドジョウマイを採取してから体調不良となり、子どもにも不整脈の症状が現われ、入院した。その際に毛髪検査を受け、基準値の2倍量のヒ素が検出された。アルミニウムの値も高かった。
12	不凍液(エチレングリコール含有)	2007年11月	奈良県	2名	83歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	下痢、尿の白濁	暖房器具に不凍液を使用しているが、業者の不備で温水暖房の回路が開いており、飲料水に不凍液が約20%の濃度で混入していた。それを知らずに甘いと感じながら、飲料水を7日間、家族2名で飲んでいった。
13	ホウ砂	2007年3月	愛媛県	3名	14歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感(1名)、肝機能異常(1名)	中学3年生の男子3名が、実験で使用したホウ砂を砂桶か塩と間違えて、食べ物に入れて食べた。
14	ポリプロピレン製の袋	2007年12月	神奈川県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	炊飯器の内釜の下にポリプロピレン製の袋が付着したまま炊いたご飯でカレーを食べた。袋が溶けて炭化している。臭いがしたが、袋が溶けたことが原因とは気づかなかった。今も炊飯器の周辺は臭いがする。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱年(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表7 農業用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状\*\*)

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの 症状**	経緯
1	有機リン系殺虫剤 (MEP)	2008年 5月	和歌山県	2名	5歳	医療機関	幼稚園	不慮	流涎	前日に殺虫剤を散布した幼稚園のサクラソボを園児2名が食べ、うち1名が受診した。
2	カーバメート系殺虫剤 (ベンフラカルブ)	2007年 7月	秋田県	2名	38歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感(1名)	庭のトラックにおいてあった農薬を触った手で、母子2名がパンを食べた。
3	カーバメート系殺虫剤 (ベンフラカルブ)	2008年 9月	宮城県	2名	27歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	倦怠感	実家で農薬を散布したネギを使って、調理して食べたところ、症状が発現した。本来は散布後45日は食べてはいけないとのことであるが、食べたのは農薬を散布して4日後に収穫したものである。
4	除草剤 (グリホサート)	2007年 7月	香川県	2名	69歳	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	悪心、しびれ	除草剤を散布した直後、近くに生えている赤シソをつんで寒天を作った。翌日、寒天を食べたところ、症状が発現したため受診した。2名で食べたが、症状が発現したのは1名のみである。
5	除草剤 (グリホサート)	2007年 5月	茨城県	2名	37歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	頭痛(1名)	隣の農家が散布した除草剤が、自宅敷地内に栽培していたサニーレタスにかかり、これを気づかずに食べた。サニーレタスは水洗いして食べたが症状が発現したので原因を探していたところ、隣の農家が除草剤を散布していたことが判明した。
6	不明の農薬	2007年 9月	宮城県	2名	69歳	医療機関	居住内 (自宅)	故意	徐脈、傾眠	農薬が混入された牛乳を、家族2名が飲まれたようだ。1名はコップ1杯飲み、ざらつとした舌触りがあったという。もう1名は口に入れた瞬間に変な味がすることに気づいて、飲まずに吐き出した。牛乳に混入した農薬は、有機リン系殺虫剤(アセフェート)、除草剤(グリホサート)、展着剤(メタノール含有)のいずれかの可能性がある。混入させた本人は除草剤(グリホサート)を飲んで自殺を図り、他院に搬送された。

\*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明

表8 医薬品(医療用、一般用、動物用)が食品へ混入した受信事例の詳細(2007~2008年、患者2名以上、有症状<sup>\*\*</sup>)

事例 No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (摂取理由)	受信時までの症状 <sup>**</sup>	経緯
1	殺菌消毒剤 (次亜塩素酸塩含有、 哺乳びん用)	2007年 10月	埼玉県	2名	5歳	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	水で希釈した哺乳びん用殺菌消毒剤をペットボトルに入れておいたことを忘れて子ども2名に飲ませた。症状があるのは1名である。
2	殺菌消毒剤 (次亜塩素酸塩含有)	2008年 4月	長崎県	2名	82歳	医療機関	医療施設	不慮	口腔咽喉違和感 (1名)	入院中の患者2名が、殺菌消毒剤の希釈液を、1名は1口飲み、もう1名は口にしましたが、変な味に気づきすぐに吐き出した。吐き出した1名に症状はない。
3	ホウ酸	2007年 2月	島根県	2名	不明	医療機関	不明	不明	口腔咽喉痛み	中学生が眼科用のホウ酸(4.5g)を牛乳に溶かして飲んだ。故意に飲んだ訳ではないようであるが、受診途中のため詳細は不明である。
4	ホウ酸	2008年 2月	兵庫県	2名	1歳8か月	医療機関	居住内 (自宅)	不慮	嘔吐、皮膚発赤・紅斑	飲み物と間違っ、祖母が孫(双子)にホウ酸水を合計200ml飲ませ、当院に転院となった。
5	外用鎮痛剤 (抗ヒスタミン、カンフル含有)	2008年 7月	神奈川県	2名	1歳7か月	一般市民	居住内 (自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	子どもと母親が虫刺されの薬が少量入ったお茶を摂取した。子どもが虫刺されの薬を舐ってお茶の入っているコップに手を入れてそのまま飲んでしまった。
6	クレンプテロール (動物用医薬品)	2007年 2月	海外 (メキシコ)	最大 450名	不明	医療機関	仕事場	不慮	頻脈、ふらつき、 筋肉痛、顔面神経・ 右上下肢麻痺	海外(メキシコ)の食堂で提供された牛肉を従業員が食べたところ、牛肉出荷前に投与されたクレンプテロールが残存しており、中毒を起こした。現地では450名が食べ、15名が帰国予定で、当院の患者は13名である。

\*患者年齢は症状がある場合は最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

\*\*受信時までの症状は、因果関係不明



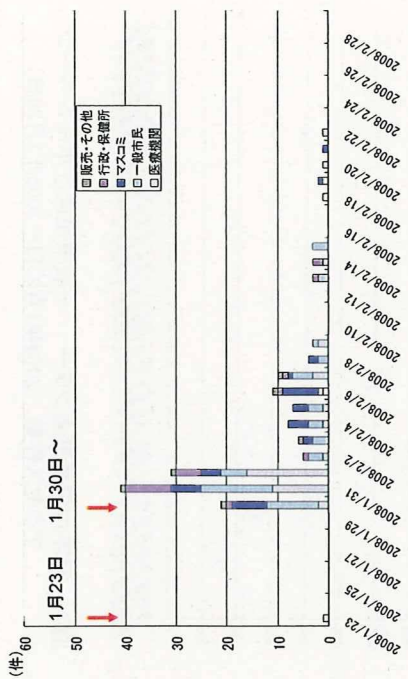


図1 日本中毒情報センター 中国産冷凍ギョウザ等による健康被害事例に関する問い合わせ件数 (2008年1月23日～2008年2月29日、計163件)

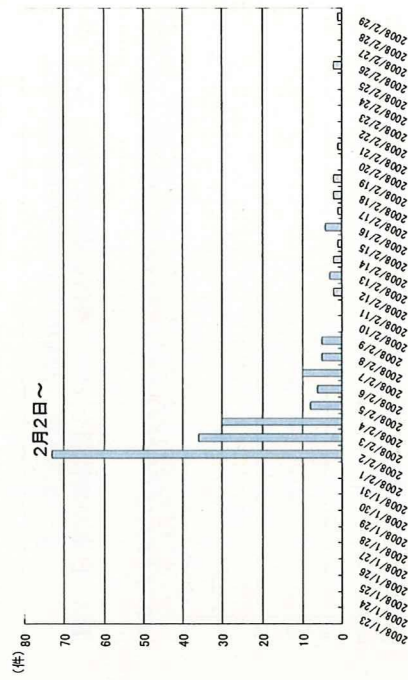


図2 厚生労働省 輸入食品に係る相談のうち冷凍ギョウザに関する件数<sup>9)</sup> (2008年2月2日～2008年2月29日、計194件)

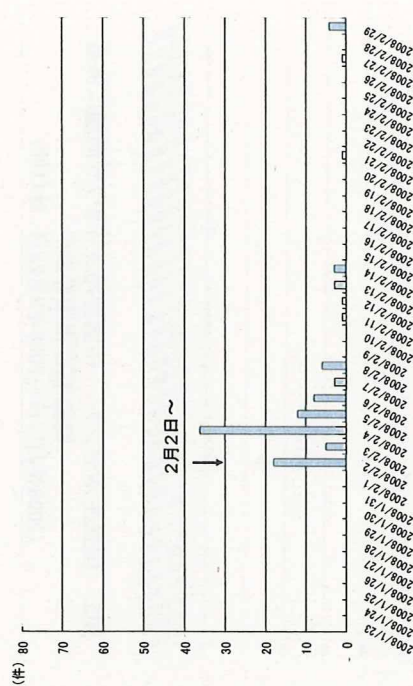


図3 農林水産省 輸入食品に係る相談件数<sup>9)</sup> (2008年2月2日～2008年2月29日、計102件)

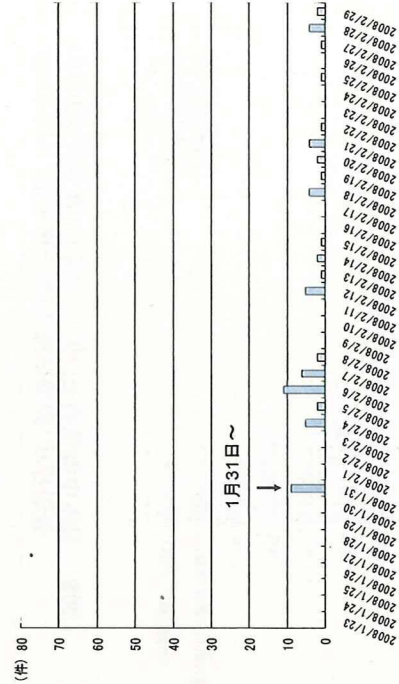


図4 食品安全委員会 中国産食品に関する相談件数<sup>9)</sup> (2008年1月31日～2008年2月29日、計64件)

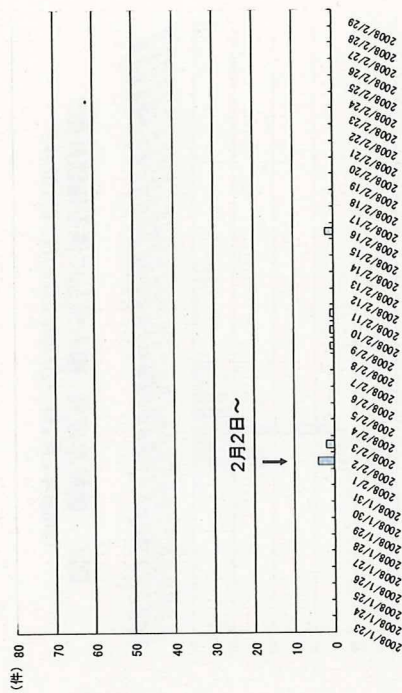


図5 国民生活センター 中国産冷凍ギョウザ問題に係る健康被害相談件数<sup>9)</sup>  
(2008年2月2日～2008年2月29日、計11件)

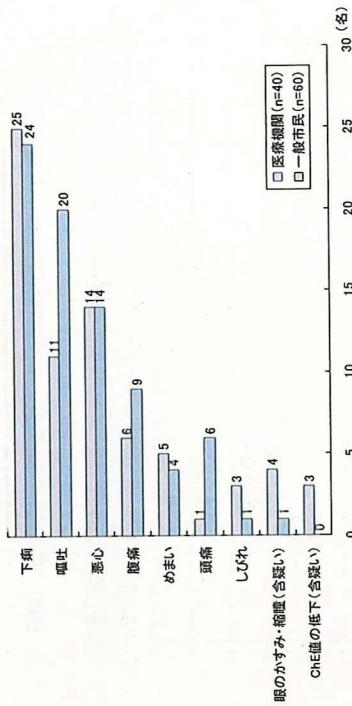


図6 日本中毒情報センター 中毒110番受信時までの発現症状(因果関係不明)と患者数 (71件:100名)

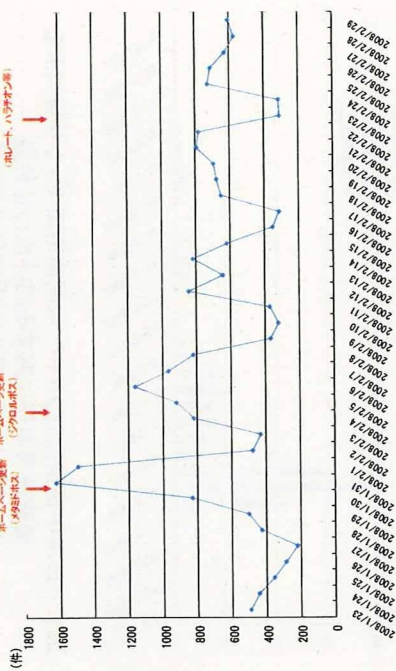


図7 日本中毒情報センター 一般市民向けホームページ アクセス件数 (2008年11月23日～2008年2月29日)

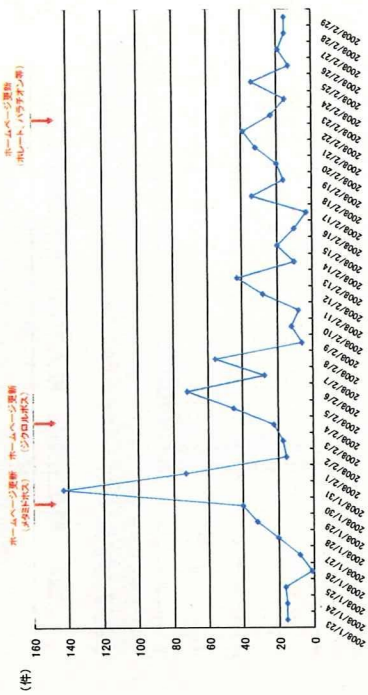


図8 日本中毒情報センター 医療従事者向けホームページ アクセス件数 (2008年1月23日～2008年2月29日)

表9 食品由来健康被害の主な臨床症状等 -WHOガイドラインから<sup>3)</sup>一部抜粋-

関連する化学物質・毒素	発症までの おおよその時間	主要な臨床症状	適切な検体	
上部消化管の症状(悪心、嘔吐)が最初に現れる症状もしくは主症状の場合				
化学物質	金属塩	<1時間	悪心、嘔吐、異常な味、口の灼熱感	嘔吐物、尿、血液、便
化学物質	重硝酸塩	1~2時間	悪心、嘔吐、チアノーゼ、頭痛、めまい、呼吸困難、震え、衰弱、意識喪失	血液
自然毒(きのこ毒)	マイコトキシン [アマトグタケ科(Amanita species) のきのこ毒]	6~24時間	悪心、嘔吐、下痢、口渇、軟瞳、虚脱、昏睡	尿、嘔吐物、 血液(肝機能検査)
神経症状(視覚障害、めまい、ヒリヒリする痛み、麻痺)が起こる場合				
化学物質	有機リン系化合物	<1時間	胃腸炎、神経質、かすみ目、胸痛、チアノーゼ、筋肉の単収縮、痙攣	血液、尿、脂肪生検
化学物質	塩素化炭化水素殺虫剤	1~6時間	悪心、嘔吐、ヒリヒリする痛み、めまい、衰弱、食欲不振、体重減少、精神錯乱	血液、尿、便、胃洗浄液
化学物質	有機水銀	72時間以上	しびれ、脚の衰弱、痙攣性麻痺、視覚障害、失明、昏睡	尿、血液、髪の毛
化学物質	トリオクロエノール	72時間以上	胃腸炎、下肢痛、歩行障害、下垂足、垂れ手	筋肉組織
自然毒(貝毒)	サキシトキシン、プレベトキシン、他	<1時間	神経症状(麻痺等)/消化器症状(下痢等)	胃洗浄液
自然毒(水生生物毒)	テトロドキシン	<1時間	チクチク感としびれ、めまい、蒼白、胃出血、皮膚の落屑、眼球不全麻痺、反射喪失、筋肉の単収縮、麻痺	
自然毒(水生生物毒)	シガトキシン	1~6時間	チクチク感としびれ、胃腸炎、冷温感覚逆転異常、めまい、口渇、筋肉痛、瞳孔散大、かすみ目、麻痺	
自然毒(きのこ毒)	ムスカリン型のきのこ	<1時間	唾液過多、発汗、胃腸炎、不整脈、縮瞳、ぜんそく性呼吸音	嘔吐物
自然毒(菌毒素)	ボツリヌス菌およびその毒素	2時間~6日、 通常12~36時間	めまい、複視やかすみ目、対光反射消失、瞳孔散大、会話困難、呼吸困難、口渇、衰弱、呼吸麻痺(脳神経と感覚器から始まる下降性で両側性の弛緩性麻痺が特徴的な症状)	血液、便、胃洗浄液

表10 植物由来健康被害の主な臨床症状等<sup>(4-8)</sup> -JPIC問い合わせ頻度が高く、毒性が強い植物毒-

関連する毒成分	関連する植物	発症までの おおよその時間	主要な臨床症状等	適切な検体	分析方法
循環器系症状 (不整脈)					
アコニチン	トリカブト	<10~20分	口腔灼熱感しびれ、四肢末端のしびれ、眩暈、心悸亢進、不整脈、嘔吐、流涎、呼吸困難、脱力感、血圧低下、呼吸麻痺、痙攣、昏睡	血清	GC/MS、HPLC
強心配糖体 (オレンドリン、ジギトキシン、 ジギタリス)	キョウチクトウ、 ジギタリス	(死亡2~20時間)	悪心、嘔吐、不整脈、徐脈、血圧低下、めまい、脱力、痙攣、昏睡	血清	酵素免疫測定法 (ジギトキシンとの交差反応)
神経系症状 (抗コリン作用: 口渇、散瞳、他)					
スコポラミン、 ヒョスチアミン	チョウセンアサガオ	30~105分	口渇、散瞳、皮膚の紅潮、高体温、頻脈、頻呼吸、不穏、幻覚、 運動失調、痙攣、昏睡	尿	呈色反応
消化器系症状/痙攣					
4-メトキシピリドキシン	ギンナン	1~12時間	悪心、嘔吐、下痢、顔面蒼白、痙攣、不整脈、呼吸困難、意識障害	血清	HPLC
消化器系症状/骨髄抑制					
コルヒチン	イヌサフラン、 グロリオサ	2~12時間から <24時間 2~7日 7~10日	悪心、嘔吐、消化管出血、下痢 骨髄抑制、痙攣、せん妄、昏睡、多臓器不全、発熱 脱毛、汎血球減少(あるいはリバウンドによる白血球増多)	尿	GC/MS